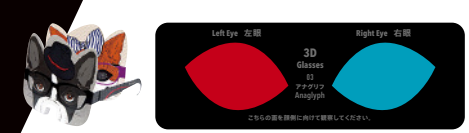
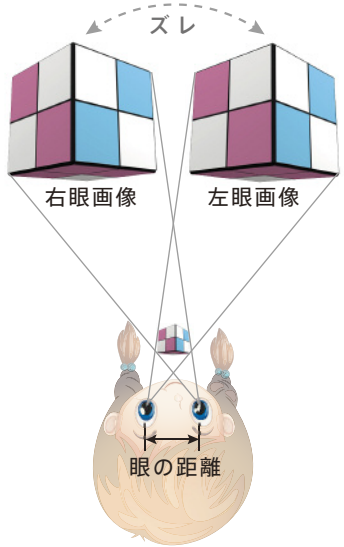


体験してみよう

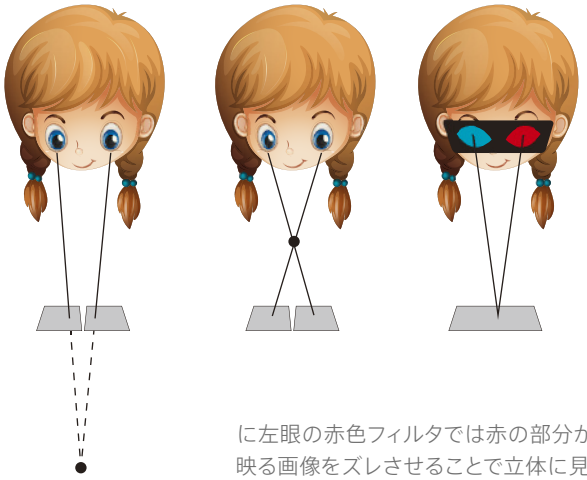
立体視

私たちは景色や物を見るとき、単眼で見る遠近感と両眼による立体視を組み合わせて立体感を得ています。人間の左眼と右眼は離れているため左右の眼を交互につぶって見ると微妙に左右の眼でズレがあることがわかります。この差を「**両眼視差**（りょうがんしさ）」といい、左右の眼に映った微妙に違う画像を脳が処理をして立体視を実現しています。立体視はこの両眼視の機能を利用して画像などを立体的に見せる手法です。

立体視には裸眼立体視の「平行法」・「交差法」と余色メガネを使う「余色法」がありますが、どれも両眼視の機能を利用した技術です。



平行（衡）法　交差法　余色法

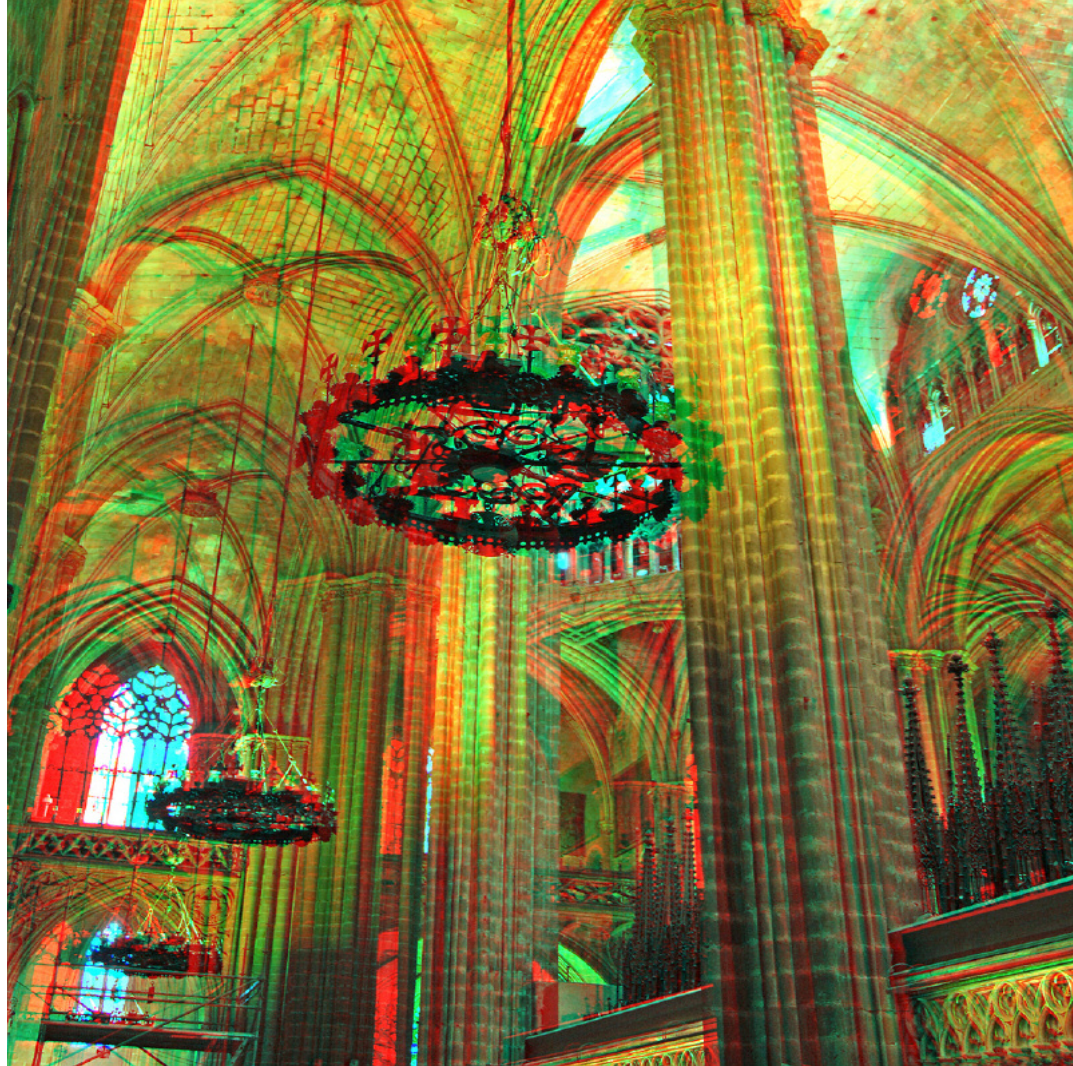


それでは、赤と青のフィルタで左右の眼に映る画像を分離させる「アナグリフ式（余色法）」を使った立体視を体験してみましょう。

裏の画像を見てください。画像は赤色と青色でズレています。

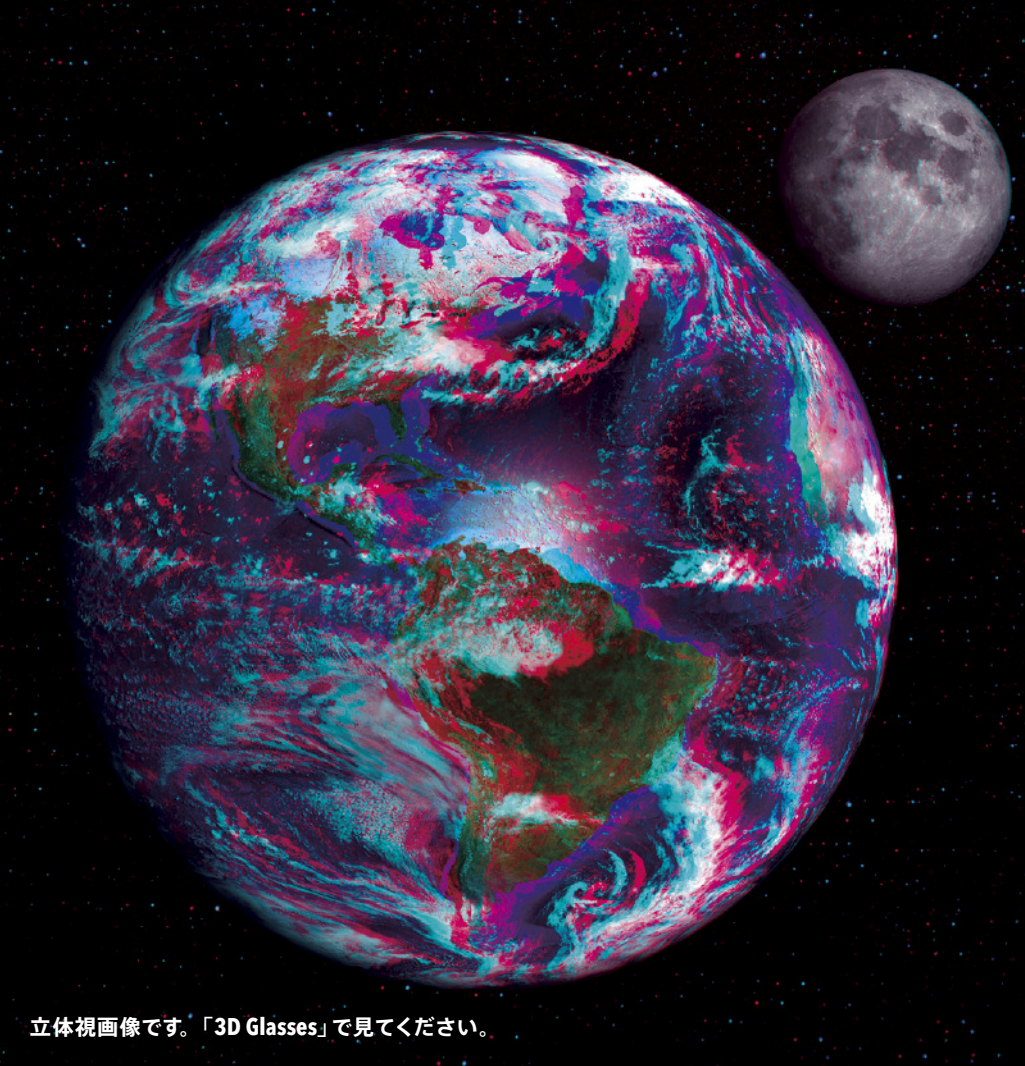
付属の「3D Glasses（余色メガネ）」をかけ、右眼の青色フィルタでこの画像を見ると青の部分が消え、同じように左眼の赤色フィルタでは赤の部分が消えます。赤と青のフィルタで左右の眼に映る画像をズレさせることで立体に見える仕組みになっているのです。

アナグリフ式の立体視では左右の眼で異なる色を見るため眼が疲れることがあります。長時間見ないようにご注意下さい。

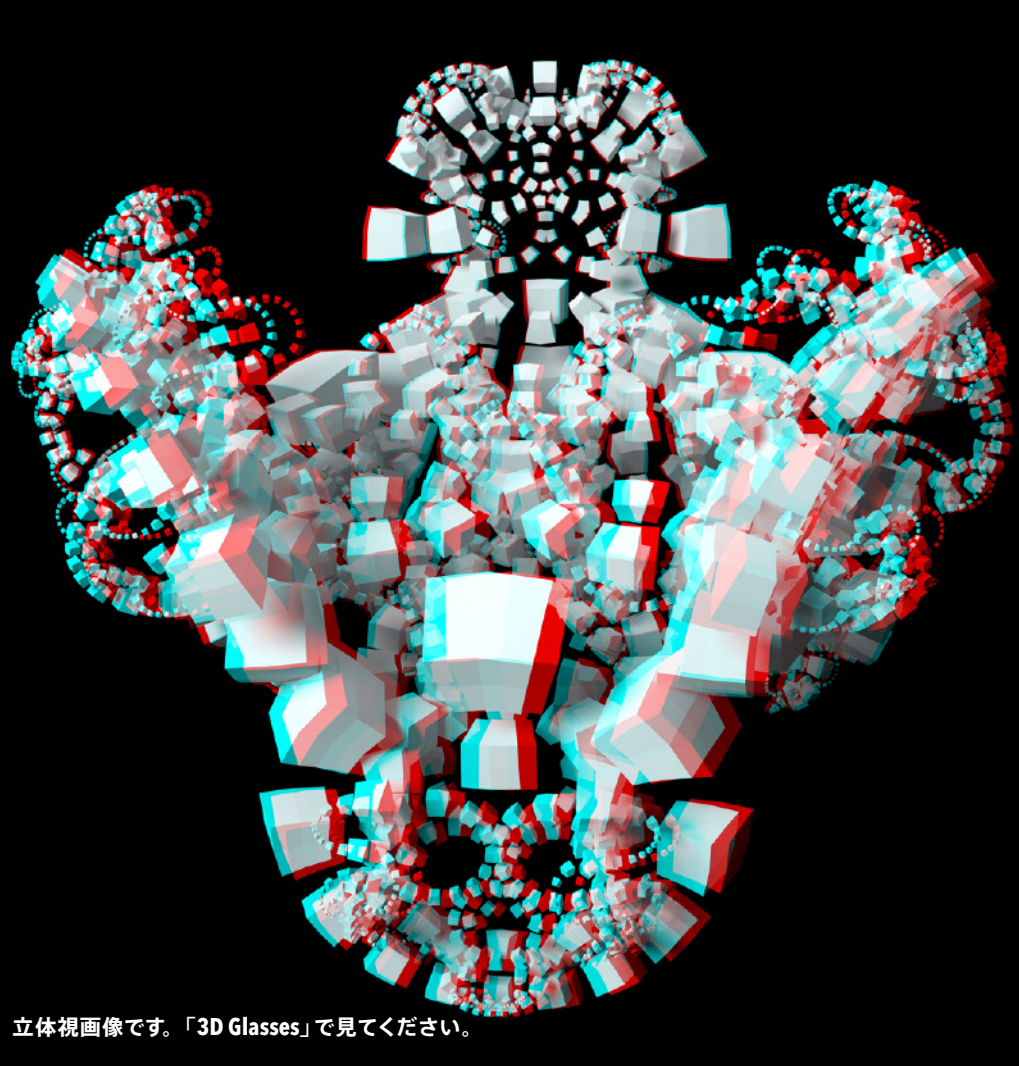


立体視画像です。「3D Glasses」で見てください。

立体視画像です。「3D Glasses」で見てください。



立体視画像です。「3D Glasses」で見てください。



立体視画像です。「3D Glasses」で見てください。